

平成21年度中野島老人いきいの家の管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 川崎市多摩区社会福祉協議会（多摩区登戸1763番地）
(2) 指定期間	平成21年4月1日 ～ 平成26年5月31日
(3) 業務の範囲	<p>1 老人いきいの家の運営等に関する業務</p> <p>ア 教養の向上及びレクリエーション活動に関する事業の実施</p> <p>イ 虚弱な高齢者を対象とした介護予防に資する取組みについて</p> <p>ウ 団塊世代の利用の促進に資する取組みについて</p> <p>エ 利用者の自主活動に対する活動の場の提供</p> <p>オ 入浴事業</p> <p>カ 川崎市及び川崎市から事業を委託された団体が実施する事業への場の提供</p> <p>キ 運営委員会の設置・運営に関すること</p> <p>2 利用の許可に関する業務</p> <p>3 老人いきいの家の利用等の報告に関する業務</p> <p>4 施設等の維持管理に関する業務</p>

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	平成21年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
①管理運営の基本的事項	<p>高齢者のいきがいくりの場として教養講座やレクリエーションを実施するとともに、小地域福祉活動の実践の場として、あらゆるニーズに対応できるよう、運営委員会との緊密な連携を図った。</p> <p>また、本市事業「いきい元気広場」への協力を通じて、高齢者の介護予防に努めた。利用者への平等な利用の確保については、要綱等に基づき適切に配慮するとともに、募集に当たっては、公開掲示(周知)を通じて、新たな受講生の確保にも努めた。</p>	<p>運営委員会及び地区社会福祉協議会との緊密な連携により、地域に根ざした施設として、概ね適切に管理運営している。</p> <p>また、ダンス等の体を動かす講座を積極的に催し、高齢者の健康増進に配慮した点は評価できる。</p>
②安全管理への取り組み	<p>修繕等を要する状態が生じた場合は、予算の範囲内の案件については早急に対応し、予算を超える場合は、川崎市社会福祉協議会に対して、随時、依頼した。ボイラーの不備が生じた場合は、利用者の安全を第一に考え、入浴を取止めることで対応した。</p> <p>また、原則2名以上で入浴するよう声掛けし、健康状態に異常があった場合は、迅速に対応するよう心掛けた。</p>	<p>概ね適切に安全管理していると判断できる。とりわけ、入浴時の対応は、利用者の身心に十分に配慮している。</p> <p>しかし、避難訓練が未実施のため、平成22年度は、計画的に実施していただきたい。</p>
③運営に関する業務	<p>教養の向上や心身の健康増進を図ることを目的に教養講座を実施し、また、従来からの同好会活動等が円滑に運営できるようサポートした。</p> <p>また、入浴事業にあつては、残留塩素濃度をはかり、常に水質が適正になるよう努め、年に1回入浴水質の安全確保のために、川崎市衛生研究所へ検体を提出し、安全管理に努めた。</p>	<p>年度を通じて適正に運営したと言える。従来から多数の利用者が来所するため、不利益が生じないよう努めた点について評価できる。</p> <p>入浴事業については、利用者への安全管理とともに、衛生面にも配慮した点について評価できる。</p>

評価項目	平成21年度管理運営の状況	評価及び指導																
(2) 利用状況																		
① 利用状況	<table border="1"> <tr> <td>団体利用者数</td> <td>10,890 人</td> </tr> <tr> <td>個人利用者数</td> <td>3,017 人</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>13,907 人</td> </tr> <tr> <td>入浴者数</td> <td>- 人</td> </tr> </table>	団体利用者数	10,890 人	個人利用者数	3,017 人	利用者数	13,907 人	入浴者数	- 人	前年度と比較し、利用者数は530人増加している。次年度は、さらなる利用者増加のため、団塊世代の促進等に努めていただきたい。								
団体利用者数	10,890 人																	
個人利用者数	3,017 人																	
利用者数	13,907 人																	
入浴者数	- 人																	
② 講座・行事の実施状況	<table border="1"> <tr> <td>教養講座実施回数</td> <td>88 回</td> </tr> <tr> <td>教養講座参加人数</td> <td>78 人</td> </tr> <tr> <td>行事实施回数</td> <td>3 回</td> </tr> </table>	教養講座実施回数	88 回	教養講座参加人数	78 人	行事实施回数	3 回	教養講座については概ね事業計画どおりだが、行事は達していない。平成22年度は、団塊世代を対象とした事業等の開催について検討し、計画どおり実施していただきたい。										
教養講座実施回数	88 回																	
教養講座参加人数	78 人																	
行事实施回数	3 回																	
(3) 収支状況																		
① 収支状況	<table border="1"> <tr> <td>委託料</td> <td>2,898,256 円</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td>2,898,526 円</td> </tr> <tr> <td>支出金額</td> <td>2,574,407 円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>2,114,590 円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>76,962 円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>244,843 円</td> </tr> <tr> <td>消費税</td> <td>138,012 円</td> </tr> <tr> <td>収支差額</td> <td>323,849 円</td> </tr> </table>	委託料	2,898,256 円	指定管理委託料	2,898,526 円	支出金額	2,574,407 円	人件費	2,114,590 円	事務費	76,962 円	事業費	244,843 円	消費税	138,012 円	収支差額	323,849 円	委託料の範囲内において、適切に執行したことは評価できる。今後も、管理経費の縮減に対する取組みに努めていただきたい。
委託料	2,898,256 円																	
指定管理委託料	2,898,526 円																	
支出金額	2,574,407 円																	
人件費	2,114,590 円																	
事務費	76,962 円																	
事業費	244,843 円																	
消費税	138,012 円																	
収支差額	323,849 円																	
(4) その他																		
① 利用者からの意見・要望等への対応	<p>当指定管理者の「苦情解決実施要綱」を設置し、苦情受付担当者・苦情解決責任者、さらには第三者委員(弁護士等)を委嘱し、苦情受付体制を確立している。</p> <p>また、「ふれあいの手紙」をいこいの家に設置し、利用者からの様々な意見や要望を汲み取った上で、運営委員会に諮り共有した。</p> <p>【利用者意見】 入浴回数を増やしてほしい。</p> <p>【対応】 近隣の老人福祉センター浴室の故障による利用者の増加が原因だったため、当センターに再会の目安を確認し、時間延長で対応した。</p>	要望・苦情等へ対応する体制が定まっていると同時に、「ふれあいの手紙」の設置によって、些細な要望等を抽出するように努めていることについて評価できる。																
② 個人情報の保護	<p>個人情報保護に関する方針(プライバシーポリシー)に基づき、プライバシーポリシーをいこいの家に掲示及び周知した。また、職員は「川崎市社会福祉協議会職員倫理要領」により、職務上知り得た個人情報の保護に努め、退職後も守秘義務に努めることとしている。名簿等の管理について、管理人室から持ち出さないようにし、利用者の目が届かない場所で保管している。</p>	緊急時に備えて利用者の個人情報の保有しているが、当方針に基づき、適正に維持管理している。今後も個人情報の保護を徹底していただきたい。																

3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

平成21年度においては、指定管理・運營業務第2期目の初年度となり、概ね事業計画に基づき、安定的に管理運営している。また、利用者の大幅な増加が評価できるため、次年度も、講座内容の充実及び拡充等を図り、より魅力ある施設運営を図っていただきたい。

4 21年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

- ・団塊世代の利用を促進するため、広報等の周知活動に努めていただきたい。
- ・教養講座及び行事の開催にあたって、運営委員会と緊密に連携していただきたい。
- ・利用者の安全管理のため、計画的に避難訓練を実施していただきたい。